



月の輪小だより

4月号

滑川町立月の輪小学校
令和3年4月8日発行



【学校教育目標】

- やさしい子
- かしこい子
- たくましい子



お子様のご入学 ご進級 おめでとうございます

校長 長島 富央

4月8日、久しぶりに友達と会って、笑顔で話す子供たちの姿が学校に戻ってきました。令和3年度が始まりました。本日、112名の新入生を迎え全校児童581名の子供たちと共に新たな学校生活のスタートです。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

本日登校してきた子供たちの表情からは新年度に向けての期待や意欲を感じることができました。その様な子供たちの思いに答えていくことが学校の使命であると感じ、私たち教職員も、新たな出会いとともに意欲に燃えています。

古来、茶道の心得に出会いに対する心を「一生に一度限り」という意味を込め、『一期一会』という言葉があります。今日の新しい出会いを大切に充実した実りある一年となるよう、教職員一同“チーム月の輪”として、教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、緊急事態宣言が解除されたとはいえ、まだまだ先行きが見えない中で新年度を迎えることになりましたが、新型コロナウイルスの感染対策について、保護者の皆様方には日頃よりご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。学校においても、引き続き感染対策に取り組み、子供たちの健康と安全を第一に考え教育活動に取り組んでまいります。予定どおりにいかない状況も考えられますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

このような時だからこそ、子供たちには明るい未来を信じて、友達と協力し、前を向いて進んでいって欲しいと考えています。保護者・地域の皆様方には、一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。



昨日より今日、今日より明日輝く月の輪小学校



「子供たちにとって明日が楽しみになる学校。保護者にとって子供を通わせたい学校。教職員にとってやりがいのある学校。」令和3年度の月の輪小学校は、こんな学校を目指します。

【学校教育目標】 ○やさしい子 ○かしこい子 ○たくましい子

【目指す学校像】 子供が生き生きと活動し、保護者や地域から信頼される学校

「教育の道は、家庭の教で芽を出し、学校の教で花が咲き、世間の教で実がなる。」と言われております。子供たちの人生に豊かな実りをもたらすために、本年度も保護者・地域の皆様方の深いご理解と温かいご支援をいただけますようお願い申し上げます。